

令和 6 年度 学校教育自己診断  
[報告]

作成日：令和 7 年 1 月 23 日

大阪府立岸和田支援学校

本年度、学校教育自己診断アンケートを

9月～10月にかけて実施しました。

報告では、その結果を一覧にまとめて掲載しております。

学校経営計画関連項目のうち、未達成の項目については以下に分析  
と次年度に向けての検討を記載しています。

【学校経営計画】

(1)

イ「私は視線入力装置を児童生徒の見え方を理解するアセスメントとして活用し、その評価を学校生活に活かしている。」(教)肯定的評価(上位2項目)79%以上[項目内容一部改訂]  
【→ 71.1%】

分析:実際に視線入力を活用していない児童生徒も多く、担当の教員によっては“ケースを担当していない=活用できていない”と回答している可能性がある。

次年度に向けて:教員に視線入力の実際を伝え、アセスメントする力の育成に役立つよう、自活主担が「視線入力だより」を作成・発行しており、活用いただくことや実際に触れる機会を設定することで、視線入力について教員の理解が深まるよう、工夫していきたい。

所属学部を○で囲んでください。( 小学部・中学部・高等部 )

児童生徒用

児童生徒90名回答数48名 23名 10名 15名

代筆の場合は口に✓を入れてください。こちら⇒ 97.9%(47)

(お子様とのやりとりで記入いただく場合、うまく判断できない場合は未記入でよいです。)

1から9の項目について、あなたの思いがあてはまる所(ア～オ)に○をつけてください。

1 学校に行くのが楽しいですか。				
ア	イ	ウ	エ	オ
とても楽しい	楽しい	あまり 楽しくない	楽しくない	わからない
60.4(29)	29.2(14)	4.2(2)	0	6.3(3)
89.6(43)		10.4(5)		
2 運動会、学習発表会、校外学習、宿泊、修学旅行などの学校行事は楽しいですか。				
ア	イ	ウ	エ	オ
とても楽しい	楽しい	あまり 楽しくない	楽しくない	わからない
66.7(32)	27.1(13)	2.1(1)	0	4.2(2)
93.7(45)		6.3(3)		
3 学校に仲のいい友だちがいますか。				
ア	イ	ウ	エ	オ
たくさんいる	いる	あまりいない	いない	わからない
31.3(15)	47.9(23)	4.2(2)	0	16.7(8)
79.2(38)		20.8(10)		
4 学校での勉強はわかりますか。				
ア	イ	ウ	エ	
よくわかる	わかる	あまりわからない	わからない	
31.9(15)	48.9(23)	10.6(5)	8.5(4)	
80.9(38)		19.1(9)		
5 先生は私たちの話をよく聞いてくれますか。				
ア	イ	ウ	エ	オ
とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	そう思わない	わからない
48.9(23)	44.7(21)	4.3(2)	0	2.1(1)
93.6(44)		6.4(3)		
6 先生は、私たち一人ひとりに合わせて自立活動をしてくれていますか。				
ア	イ	ウ	エ	オ
とてもそう思う	そう思う	あまり そう思わない	そう思わない	わからない
70.8(34)	22.9(11)	0	0	6.3(3)
93.7(45)		6.3(3)		
7 先生は、いじめもふくめて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれていますか。				
ア	イ	ウ	エ	オ
とてもそう思う	そう思う	あまり そう思わない	そう思わない	わからない
58.7(27)	30.4(14)	2.2(1)	0	8.7(4)
89.1(41)		10.9(5)		
8 学校からiPadを持ち帰って楽しく使えていますか。				
ア	イ	ウ	エ	オ
とてもそう思う	そう思う	あまり そう思わない	そう思わない	わからない
30.4(14)	32.6(15)	21.7(10)	2.2(1)	13(6)
63(29)		37(17)		
9 (高等部のみ、お答えください) 卒業したあとの生活について具体的に考えていますか。				
ア	イ	ウ	エ	オ
よく考えている	考えている	あまり 考えていない	考えていない	わからない
40(8)	45(9)	10(2)	0	5(1)
85(17)		15(3)		

※数値は%、()内は人数

## 令和6年度 学校教育自己診断

保護者用

所属学部を○で囲んでください。(小学部・中学部・高等部)

各項目は学校が行っている事柄について評価していただくものです。

保護者90名、回答数61名 28名 20名 13名

回答の方法は、それぞれの設問の内容が、よくあてはまる場合はAの欄に、ややあてはまる場合はBの欄に、

あまりあてはまらない場合はCの欄に、まったくあてはまらない場合はDの欄に、それぞれ○印をつけてください。

判断できない(わからない)場合は、どの欄にも○印をつけなくて結構です。

	診断内容	A よくあてはまる	B ややあてはまる	C あまりあてはまらない	D まったくあてはまらない
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	62.3(38)	26.2(16)	11.5(7)	0
		88.5(54)		11.5(7)	
2	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。(表情から読み取れる。)	55(33)	35(21)	10(6)	0
		90(54)		10(6)	
3	学校は、1人1台タブレット端末を含めたICT機器を効果的に活用している。	36.7(22)	50(30)	13.3(8)	0
		86.7(52)		13.3(8)	
4	学校はあいさつの大切さ、思いやりの心、生命を大切にする心、ルールを守る態度を育てる授業に取り組んでいる。	49.2(29)	49.2(29)	1.7(1)	0
		98.3(58)		1.7(1)	
5	学校は子どもの人権やプライバシーに十分配慮して指導している。	53.3(32)	43.3(26)	3.3(2)	0
		96.7(58)		3.3(2)	
6	発達段階に応じて身辺自立に関する指導やソーシャルスキルおよび将来設計など生きる力をつける教育(キャリア教育)の推進ができています。	44.1(26)	49.2(29)	5.1(3)	1.7(1)
		93.2(55)		6.8(4)	
7	通知票は支援の手立てや学習の状況(様子)が適切に示され評価されている。	72.9(43)	25.4(15)	1.7(1)	0
		98.3(58)		1.7(1)	
8	学校は個別の教育支援計画にもとづいて適切な支援を行っている。	68.9(42)	29.5(18)	0	1.6(1)
		98.4(60)		1.6(1)	
9	肢体不自由児の特別支援学校としての十分な専門性がある。	50(30)	40(24)	10(6)	0
		90(54)		10(6)	
10	学校は進路懇談会や広報誌「やまもも」などで将来の進路や生活支援・支援教育に関する情報を適切に提供している。	48.3(29)	41.7(25)	8.3(5)	1.7(1)
		90(54)		10(6)	
11	医療的ケアは、子どもの実態に即して適切に実施されている。	47.3(26)	49.1(27)	1.8(1)	1.8(1)
		96.4(53)		3.6(2)	
12	学校経営計画・学校運営協議会があるのを知っている。	32.8(19)	41.4(24)	17.2(10)	8.6(5)
		74.1(43)		25.9(15)	
13	学校は感染症対策を行いながら、授業参観や行事などを行っている。	45.9(28)	45.9(28)	8.2(5)	0
		91.8(56)		8.2(5)	
14	担任、担任以外の先生も気軽に挨拶をしている。	70.5(43)	26.2(16)	3.3(2)	0
		96.7(59)		3.3(2)	
15	子どものことで悩んだときに、担任・学校と適切に相談できる。(いじめがあったときも同じように相談できる。)	47.4(27)	47.4(27)	3.5(2)	1.8(1)
		94.7(54)		5.3(3)	
16	給食の食材や献立および給食だよりは子どもたちに配慮され、工夫したものになっている。	67.3(37)	30.9(17)	1.8(1)	0
		98.2(54)		1.8(1)	

※数値は%、()内は人数

令和6年度 学校教育自己診断

教職員用

【記入にあたって】

1～18の項目は学校組織として見た場合の評価・診断をしていただくものです。

回答の方法は、それぞれの設問の内容が、よくあてはまる場合はAの欄に、ややあてはまる場合はBの欄に、あまりあてはまらない場合はCの欄に、まったくあてはまらない場合はDの欄に、それぞれ○印をつけてください。  
判断できない(わからない)場合は、どの欄にも○印をつけなくて結構です。

	診断内容	A	B	C	D
		よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
1	本校の教職員は所属以外の児童生徒にも気軽に挨拶をしている。	81.8(63)	18.2(14)	0	0
		77(100)		0(0)	
2	学校は分掌再編をととして業務内容を見直し、精選を進めている。	35.1(27)	51.9(40)	13(10)	0
		87(67)		13(10)	
3	学校は研究授業・公開授業週間を積極的に企画し、授業力向上に取り組んでいる。	49.4(38)	42.9(33)	7.8(6)	0
		92.2(71)		7.8(6)	
4	私は、重力軽減システム(楽スタ)の指導方法について理解し、指導に携わり、効果的な活用について理解した。	38.2(29)	51.3(39)	6.6(5)	3.9(3)
		89.5(68)		10.5(8)	
5	私は、視線入力装置を児童生徒の見え方を理解するアセスメントとして活用し、その評価を学校生活に活かしている。	22.4(17)	48.7(37)	15.8(12)	13.2(10)
		71.1(54)		28.9(22)	
6	学校は感染症対策を行いながら、行事を工夫して実施している。	51.9(40)	41.6(32)	56.2(4)	1.3(1)
		93.5(72)		6.5(5)	
7	学校は、1人1台タブレット端末を含めたICT機器を効果的に活用している。	57.9(44)	31.6(24)	10.5(8)	0
		89.5(68)		10.5(8)	
8	個別の教育支援計画をもとに個別の指導計画を作成し、実施後速やかに評価して次の指導に活かしていく、PDCAサイクルが、学校として確立できている。	46.1(35)	47.4(36)	5.3(4)	1.3(1)
		93.4(71)		6.6(5)	
9	観点別評価について理解し評価を行い、指導につなげて、授業改善に取り組んでいる。	50(38)	44.7(34)	5.3(4)	0
		94.7(72)		5.3(4)	
10	学校は発達段階に応じて身辺自立に関する指導やソーシャルスキルおよび将来設計など生きる力をつける教育(キャリア教育)の推進ができています。	35.5(27)	57.9(44)	3.9(3)	2.6(2)
		93.4(71)		6.6(5)	
11	学校はICT機器を活用し、業務の効率化を進め、授業に取り入れている。	42.1(32)	52.6(40)	5.3(4)	0
		94.3(72)		5.3(4)	
12	学校は子どもの体調の急変や怪我、いじめについてもすぐに気がつける体制を整えている。	70.1(54)	28.6(22)	1.3(1)	0
		98.7(76)		1.3(1)	
13	私は肢体不自由支援学校の教員として必要な専門性を持つため、自己研鑽に努めている。	49.4(38)	49.4(38)	1.3(1)	0
		98.7(76)		1.3(1)	
14	全校教科会にて教員の教科指導における専門性についての理解が向上した。	36.8(28)	46.1(35)	14.5(11)	2.6(2)
		82.9(63)		17.8(13)	
15	学校は進路・生活支援や支援教育に関する情報を保護者に十分に提供している。	51.3(39)	39.5(30)	9.2(7)	0
		90.8(69)		9.2(7)	
16	学校は子どもの人権やプライバシーに十分配慮して指導している。	54.5(42)	41.6(32)	3.9(3)	0
		96.6(74)		0.4(3)	
17	職員は各自の業務効率化を進めるためにICTを活用している。	42.9(33)	53.2(41)	3.9(3)	0
		96.6(74)		0.4(3)	
18	給食時間や授業において、食に関する指導を行っている。	49.3(37)	49.3(37)	1.3(1)	0
		98.7(74)		1.3(1)	

※数値は%、( )内は人数